

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

本牧和田地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

基本的に従来行われている地域活動は継続されている他、単位町内会の中には新たな活動や、従来の活動を拡大するものなども立ち上がっています。これらの背景には、地域住民の方々に日頃からのつながりによる高齢者の孤立防止、介護予防への重要性等の共通認識が深まってきたことがあり、その課題解決に向けた具体的な取り組みの現れと考えられます。これらの活動の継続支援のため、新たな担い手づくりと活用、必要な方々への適切な声かけや情報伝達が一層重要な課題と思われれます。

地域住民の方々の主体的な活動を中心とした社会資源を活用し、担い手の拡大を図りました。また、脳トレリーダーのように従来の地域つながりとは別の形で地域活動に積極的に参加する方々も支援しました。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢者相談は包括支援センターが中心に行いました。地域の高齢者食事会や体操会等の活動支援と共に、介護予防への啓発を積極的行いました。今年度は認知症サポーター養成講座を介護保険事業所と間門小3年生(1学級)に実施しました。

高齢者のみではなく、その家族が障害者であるような複合的なケースでは、専門の関係機関と連携して取り組みました。また、コミュニティカフェを活用し、障害当事者(介護保険2号保険者)が参加し地域住民と交流できる機会を作りました。

子育てサロンは事業内容について主任児童委員とも相談し、歯みがき講座など母親のニーズに添った内容を提供し好評を得ました。

(2) 各事業の連携

従来どおり各部署の職員間で地域状況や課題等について、日々情報共有し共通認識を持って、各事業での取り組み方法を検討しながら事業運営を行いました。

自主事業・地域団体の活動支援・地域ケア会議等も包括・交流・生活支援の職員が連携して実施しました。

今年度はこれまで地域交流の職員が行っていた広報紙の作成(年4回)を、包括、生活支援の職員も連携して部署毎に紙面を分担し、隔月発行とし情報発信の充実を図りました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

今年度は8月から包括支援センターの主任ケアマネジャーが不在となり、12月現在配置の目処が立っていません。職員定数1名減となっていますが、現在配置の職員で事業運営に支障がないよう努めました。職員募集は継続していきます。

12月までに5回行った施設内研修の内1回は、外部講師(PT)を招き、重度者の移乗方法を学びました。外部研修のフィードバックは1月以降に予定しています。例年どおり事故ヒヤリハット事例の検証と周知により、事故防止は継続できています。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

例年どおり、活動支援を通じて地域団体との関係作りは良好です。普段の関わりから得られる情報や、包括レベルの地域ケア会議で、地域団体、関係機関との課題認識の共有化と解決に向けた連携強化に努めました。

近隣の学校や施設、事業所との連携も良好で、様々な協力からコミュニティカフェ(お散歩カフェほっと)の内容が参加型へと広がりました。

また、今年度は従来から培われた介護保険事業者とのネットワークを生かし、高齢者の孤食の解消と社会参加を目的とした自主事業(みんなdeごはん)を7月から隔月で実施しました。

(5) 区行政との協働

例年どおり区行政、区社協とは連携して第3期福祉保健計画の推進に努めました。また、様々な会議を通して情報共有し、地域状況や課題を共通認識し、方向性や役割を確認しながら事業運営を進めました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

必要な方へ自主事業等の情報が届くように、広報紙の発行回数を増やし(4回⇒6回)、新たに「本牧地域ケアプラザ活動カレンダー」を作成し地域への情報提供に努めたところ、参加者が増えました。

1 地域住民が地域福祉についての理解を深め、様々な形で参加できるよう、事業を企画実施しました。特に近隣小中学校とは児童・生徒が福祉に関する理解を深められるように様々な交流を行いました。

「個別支援学級に在籍する児童の余暇支援」を自主事業(男の料理教室)の参加者、地域のボランティア、地区社協と一緒に実施しました。

高齢者を中心とした課題「振り込め詐欺防止」活動として山手警察署・山手防犯協会・本牧中学校とが連携し取り組みを行う機会を企画・実施しました。

地域防災拠点の防災訓練に参加し、児童が参加する防災訓練プログラムを地域作業所、区社協と協働で実施しました。

2 ホームページや広報紙、貸館利用団体への情報提供等を通じ、若い世代の方へ自身の健康づくりや、ボランティア活動の参加等への働きかけを行いました。

3 包括支援センター、生活支援体制整備事業、地域団体と連携し、介護予防講座等を町内会館等で実施しました。

4 運動サロン「さつき会」認知症サロン「なごみ」は、昨年度まで第5週目は実施しなかったが、今年度は毎週開催とし参加の機会を増やしました。

包括支援センター・生活支援体制整備事業と連携し「お散歩カフェ」などで、様々な方がボランティアとして活躍できるよう支援しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

貸館事業の内容紹介をケアプラザのホームページで随時行う他、月毎の貸館予約状況を館内に掲示し、空室がわかりやすいように工夫しました。また利用希望日が重なりそうな団体には、活動内容を鑑み代替可能な部屋や日程の情報を提供しました。

利用団体の活動を館内に掲示するなど、紹介する機会を提供し、継続した利用となるように支援しました。

各団体がボランティア活動や地域福祉活動に参加できるよう後方支援に努めました。当ケアプラザだけでなく、近隣の事業所や近隣ケアプラザと協力したことで、利用団体の活動の場の提供に繋げることができました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

ボランティア活動の啓発として、ボランティア参加者には活動後にメッセージカードを記入してもらい、ボランティア交流展として館内に掲示しました。これは来館者に様々な活動を知ってもらう機会となりました。

近隣小中学校の福祉教育支援、体験学習(実習)の受け入れを積極的に行いました。また、近隣中学校に働きかけ、様々なボランティア活動に参加できるよう調整しました。

脳トレリーダー研修を終了した方々が自主グループ(本牧ケセラセラ)になりましたので、活動支援として他のケアプラザや、地域団体主催のサロン等でも活躍できる機会を作りました。

今年度は障害者ボランティアの活動実績はありませんでしたが、障害者支援・就労移行支援事業所と連携し、実習生2名、延べ8日間、実習支援・対応を行いました。

「よこはまシニアボランティアポイント」登録者の活動支援を行いました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地区社協、民児協、元気な本牧根岸まちづくりの会等の会議や事業等への参加を通して地域の状況や社会資源の情報収集、情報提供を行いました。

地域の福祉保健活動団体が開催する食事会や茶話会、体操会等に出向き情報収集や情報提供を行いました。また地域団体が主体的に活動を継続できるよう、関係者と相談しながら活動支援を行いました。

上記で把握した地域情報や地域課題等を定例会議等を通して、区・区社協と情報共有を行いました。

広報紙の発行回数を年4回から6回(隔月発行)に増やし、「本牧地域ケアプラザ活動カレンダー」も同時配布することで情報発信の機会を増やしました。

広報紙にはケアプラザの情報だけではなく、地区社協の活動や住民主体のイベントなどの地域情報を掲載し、様々な情報提供の場として活用しました。発行ごとに、エリア内の町内会・自治会、福祉保健活動関係団体、学校、地域作業所等に約1600部配布した他、CPのホームページにも掲載しました。

横浜カレンダーHPを活用し、情報発信を行いました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ① 地域包括支援センターや地域活動交流事業等と連携し、地域の課題や情報等を共有しながら、協働しながら事業に取り組むことができました。
- ② 中区内で実施されている「ケアマネサロン」等へ参加し生活支援体制整備事業について周知することに努めました。またケアマネジャーから地域課題等を直接聞き取ることができました。また地域の関係団体等の集まりに参加し、同様に周知に努めました。
- ③ 地域の関係機関や活動団体、ボランティア活動等をしている地域住民と連携・協力し、生活支援を充実させるための体制作りにも努めました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ① 地域包括支援センターと協力し、圏域内で活動するケアマネジャーや民生委員等に対し、高齢者の生活ニーズ調査を行うことができました。また、個別に聞き取り等を実施し、ニーズの把握に努めました。
- ② 「本牧・根岸地区地域活動サービスリスト」の更新や情報の充実が図れるよう情報収集等に努めました。また、広報誌等を通じ情報発信に努めました。
- ③ ケアマネサロン等を通じ、ケアマネジメント等に利用してもらえるよう啓発活動を行いました。
- ④ 新たな担い手については、広報誌等や講座等を利用して確保に努めているが、まだ不十分であるため今後の取組を検討する必要があると感じます。

(3) 連携・協議の場

- ① 所内でのミーティングを活用し、5職種間で情報共有や課題の共有等に努め、課題解決に向けた具体的な取り組み等を検討しました。
- ② 地域包括支援センターが実施する地域ケア会議等を通じて、地域住民や介護保険の事業所や医療関係者等と連携を深め、必要な生活支援・介護予防・社会参加にかかる活動・サービスの創出等に向けた働きかけを行いました。
- ③ 地域で開催されている連絡会等へできるだけ参加し、地域の情報等の把握に努めました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ① 中区生活支援コーディネーター連絡会で、区役所や区社協、他の区内のケアプラザ等と情報を共有し、また協働した取組をすることに努めました。
- ② 「みんなdeごはん」等に関しては、担当圏域だけでなく隣接している圏域へも送迎等を実施し、圏域を超えて活動をしました。
- ③ 隣接圏域で活動するケアマネジャー等に対し、「こころの病・引きこもり等に関する調査」と「生活状況調査」を実施し、地域課題等の把握に努め、次年度以降の取組に繋がります。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

地域のサロン、食事会等の参加や事業所等の関係機関への訪問等を継続し、連携や関係作りに努めました。地域包括ケアシステムの構築についての認識を改めて共有し、地域課題の抽出や取り組みについて再検討することが出来ました。

個別レベル地域ケア会議の回数を増やし実施することができました。住民目線で意見を求める為、中学校の地域コーディネーターが初めて参加する等、幅広く関係者と意見交換する事ができました。生活支援体制整備事業と連携し、コミュニティカフェ(お散歩カフェほっと)を継続実施しました。近隣の学校や施設、事業所との連携、協力体制への構築に努めました。

②実態把握

他機関と連携し多方面から総合的な視点で実態把握を行う事で、居住環境や病状に応じて柔軟に対応を行いました。初回相談だけでなく、継続的に支援が必要なケースに関してフォローを持続する事ができました。関係機関や本人、家族への訪問を行い情報収集に努めました。また、関係機関と連携しながら、実態把握に努める事で、迅速に生活課題を抽出し支援に繋げることができました。

地域の食事会やサロン等に積極的に参加し、参加者等から生活面の困り事や地域ニーズ等の情報収集に努めました。

③総合相談支援

ケアプラザの事業や地域の活動等に参加し、広報誌等で紹介、地域包括支援センターの機能や役割について周知を積極的に行いました。地域の高齢者の相談窓口として、高齢者本人や家族、またその周囲の人からの相談を的確に受け止めるよう努めました。また必要に応じて継続的なフォローを行い、他機関と積極的に連携を図りました。

相談内容を包括職員でできるだけ共有する事に努め、適宜各部門の専門職と協力して専門性を活かした支援に努めました。インフォーマルサービス等を含めた適切な情報を提供し、各関係機関につなげるよう努めました。また地域での活動を活用し、地域参加を促すよう努めています。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

成年後見制度や権利擁護事業、生活困窮者自立支援事業等の制度の理解と関係機関との連携に努め、適宜関係機関へ繋げるなど適切な支援や助言を実施することができました。

地域住民向けに安心生活講座を開催しました。東京地方税理士会との共催で、成年後見制度と相続をテーマに講座と個別相談会を開き権利擁護等の普及啓発に努めました。

地域のサロンや食事会等の場で、消費者被害防止や日常生活での事故防止等の啓発を実施しました。また、早期対応や未然防止の為、相談窓口の周知にも努めました。

②高齢者虐待への対応

社会福祉士職会にて、区内居宅介護支援事業所のケアマネジャー向けの高齢者虐待対応向けのアンケートを実施しました。早期発見、介入できるようニーズ調査に努めました。

居宅介護支援事業所のケアマネジャーより虐待ケースについて相談があった際には、状況確認等を迅速に行い、区役所と連携して適切な対応に努めました。

③認知症

1. 認知症の正しい理解を地域の方にも促す為に「認知症サポーター養成講座」を行ないました。地域に住む小学生にも実施して認知症の人々が普通に住める街づくりに努めました。認知症の人々への理解を地域住民に促す為に、町内での集まりで認知症の理解について話し、さらに認知症予防のために脳トレを実施しました。
2. 初めて認知症の介護をする家族には認知症の正しい理解について、担当のケアマネジャーとも連携して情報提供をしました。認知症の対応に困っているケースについては認知症初期支援チームが関わっていけるようにシステム作りに努めました。認知症の方の家族介護者や介護が終わった家族等に介護者のつどいを実施して介護している人の心のリフレッシュに努めました。徘徊の可能性のある認知症高齢者家族には徘徊ネットワーク等を案内し、安心して地域で生活できるようシステム作りに努めました。
3. 中区内での認知症事業検討会に参加し、他の包括支援センター等と情報共有をしました。中区役所で行なう認知症のキャンペーン等で地域住民にケアプラザで行なっている脳トレ講座の紹介を行ないました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

1. 地域で行なわれている食事会や茶話会、体操教室に参加して地域住民に対して健康づくりや介護保険制度の説明を行ないました。またそこで地域の人が生活するうえで困っている事等の相談を受けて対応しました。
2. ひとり暮らし高齢者等への見守りにおいて民生委員と連携を取り、地域の高齢者の見守り体勢の構築を努めました。
3. 民生委員とケアマネジャーとの交流会の実施は出来ませんでした。

②医療・介護の連携推進支援

1. ケアマネジャーや病院に対し入退院の際に情報共有がスムーズに行なわれるよう、入退院連携シートを活用するよう紹介しました。
2. 中区在宅医療相談室との情報交換や連携に努めました。
3. 広報誌を通じて件域内の医療機関に訪問してネットワーク作りに努めました。

③ケアマネジャー支援

1. ケアマネジャーからの相談については、包括支援センター内で専門性を活かして支援を考えて対応に努めました。
2. 区内の地域包括支援センターと共催で「ケアマネサロン」に参加して地域作り等の情報を共有しました。
3. 新任ケアマネジャーに対する研修が実施されましたが主マネとしては参加できませんでした。包括看護職では総合事業の説明を行いました。また新任ケアマネジャーのケアプランについて担当者会議やプランの評価の際に助言をしました。
4. 主任ケアマネジャー不在のために様々な会議等に参加できませんでした。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

1. 地域ケア会議は個別を2回、包括レベル1回を実施し、独居の特に男性高齢と地域との関わりについて検討しました。課題に対して地域住民が地域の現状を共通認識し、それぞれの立場でこれからできる事を考える機会となりました。会議を通して参加者同士の顔の見える関係も深まりました。
2. 地域の事業所が連携して、高齢者も参加型の食事会「みんな De ごはん」の立ち上げりを支援しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

1. 事業対象者・要支援者が主体的に意欲を持って地域で暮らしていけるように ICF の視点を踏まえて目標指向型の介護予防ケアマネジメントを行ないました。
2. 介護予防支援・介護予防ケアマネジメントを委託している居宅介護支援事業所のケアマネジャーに対して介護予防ケアマネジメントを実施する際に上記のようなケアマネジメントが出来るように担当者会議等に参加して助言を行ないました。また計画の評価等を行う時も助言を行ないました。地域の体操教室や資源の情報も生活支援コーディネーターが作成した地域資源サービスリスト等で紹介して利用者一人ひとりの生きがいや自己実現が出来るようなケアマネジメントが出来るように支援しました。
3. 中区内の地域包括支援センターと協働して居宅介護支援事業所のケアマネジャー向けに「介護予防従事者研修」を実施してケアマネジャーが利用者を ICF の視点で理解できるように努めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

1. 地域住民が主体的に活動している会に参加してグループを支援し、そこに来ている高齢者の状態を把握して相談にも対応しました。
2. 介護予防普及強化事業として介護予防講座をケアプラザで実施しました。年間を通じて行なっているので途中参加でも運動、口腔、栄養の講座が受けられるよう工夫しました。
前年度の脳トレリーダーがボランティアグループとして活躍していけるようにグループ化を支援しました。地域の食事会や茶話会で行なった介護予防講座では脳トレリーダーやボランティアグループが積極的に活動していけるように、活動の場を提供しました。ボランティアグループと地域住民が話し合う機会を持ち、会をどう実施していったら良いかお互いのニーズの調整が出来るように支援しました。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- 1 業者委託による日常清掃、定期清掃および月 1 回の総合巡視点検を実施しました。空調機器等、定期清掃以外の部分についても順次特別清掃を行いました。建物設備の不具合については迅速に修繕し、大規模修繕については区役所と事前協議の上、実施しました。
- 2 自動ドア、エレベーター、空調機器、消防設備、浴室リフター、業務用冷凍冷蔵庫等の設備点検は適切な専門業者に委託し、法定または通常基準の頻度の回数で実施し安全管理を行いました。

(2) 効率的な運営への取組について

- 1 日頃から収支の管理を詳細にし、経費削減に努めた予算執行を行いました。
- 2 給食業務や保守管理業務等の委託金額や内容を見直し、効率化を図るとともに設備、機器等の日常的なメンテナンスを実施し、修繕費等の削減に努めました。また、職員一人一人がコスト意識を持ち、常に業務内容を見直し冗費節約に努めました。
- 3 各事業の担当職員は部門間協力することで、効率的な運営を行いました。

(3) 苦情受付体制について

当法人の「苦情解決事業規程」に則り、苦情受付担当者、苦情解決責任者および第三者委員を設置。施設内に案内を掲示し、利用者等が申し立てをしやすい環境作りを行いました。苦情はありませんでしたが、利用者アンケートを活用し利用者等との日常的な関わりの中で出された希望や意見を検討し、より良い施設運営に努めました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- 1 警備会社に業務委託し、閉館時は遠隔監視による防犯・防災体制を実施しました。また業務時間内での不審者等の侵入に備え、緊急通報システムを導入していました。
- 2 日頃から緊急時の指示系統を明確にし、マニュアルに基づき対応手順、役割分担等を周知しました。緊急時に迅速に対応できるよう、年 2 回の防災訓練を行いました。
- 3 福祉避難所としての応急備蓄物資の他、災害時に備え法人として備蓄物資を整備しました。また地域防災拠点の防災訓練等に参加し、発災時における地域との連携を日頃から強化し非常時に備えました。

(5) 事故防止への取組について

- 1 例年どおりヒヤリハット報告等を見直し、そこから絞られた課題や傾向を職員間で周知することで事故防止への効果は継続できました。
- 2 危機管理および接遇の研修を年 1 回以上実施した他、「安全管理委員会」ではヒヤリハット事例の分析、チェックシートによる職員の意識調査等を行い、事故防止に対する職員への啓発及び研修などを行いました。
- 3 施設内の設備点検を定期的実施したほか、職員への危機管理意識の啓発により、建物設備等の不具合にこまめに気付き、小破修繕等で早めに対応できました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- 1 当法人の「個人情報保護規程」および「個人情報に関する管理マニュアル」に則り、個人情報保護管理者、責任者を配置し、施設内に内容を掲示しました。
- 2 職員はすべて守秘義務に関する誓約書を法人に提出し、個人情報の取り扱いに関する研修を必ず年1回以上受け、個人情報保護についての周知徹底を図りました。
- 3 日常業務の中でファックス送信や郵便物の送付、書類等の返却など必ずダブルチェックを実施し、誤送付等の事故防止を徹底しました。

(7) 情報公開への取組について

事業計画・報告、予算決算書等を含む法人理事会の資料を、窓口など希望者が自由に閲覧できる場所に常設する他、法人のホームページで決算状況等を公開しています。ケアプラザのホームページでは広報紙や自主事業の案内を閲覧できるようにし、事業や活動内容を紹介しました。

(8) 人権啓発への取組について

人権問題については「横浜市人権施策基本指針」等を活用し、年1回職員全体での研修にて周知しました。特に利用者支援については、年1回以上虐待に関する自己点検シート(チェックリスト)を活用し、利用者の尊厳について確認しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

ゴミの分別や廃棄物のリサイクルに積極的に取り組み、廃棄物の減量化に努め、リサイクルを考慮して物品の購入を行いました。省エネルギー対策として節電(未使用の部屋の消灯等)節水に心がけました。また、施設内は禁煙とし完全分煙を実施しました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者(看護師) 1名(地域包括支援センターとの兼務)
主任介護支援専門員 1名(地域包括支援センターとの兼務)

《目標に対する成果等》

1. 事業対象者・要支援者が主体的に意欲を持って地域で暮らしていけるように ICF の視点を踏まえて目標指向型の介護予防ケアマネジメントを行ないました。
2. 介護予防支援・介護予防ケアマネジメントを委託している居宅介護支援事業所のケアマネジャーに対して介護予防ケアマネジメントを実施する際に上記のようなケアマネジメントが出来るように担当者会議等に参加して助言を行ないました。また計画の評価等を行う時も助言を行ないました。地域の体操教室や資源の情報も生活支援コーディネーターが作成した地域資源サービスリスト等で紹介して利用者一人ひとりの生きがいや自己実現が出来るようなケアマネジメントが出来るように支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

中区内の地域包括支援センターと協働して居宅介護支援事業所のケアマネジャー向けに「介護予防従事者研修」を実施してケアマネジャーが利用者を ICF の視点で理解できるように努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
112	118	112	113	115	114
10月	11月	12月	1月	2月	3月
121	119	116	121	113	117

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者(介護支援専門員) 1名(常勤兼務)
主任介護支援専門員 2名(常勤専従)
管理者以外の介護支援専門員 1名(常勤専従)

《目標に対する成果等》

要介護認定を受けた利用者が、可能な限り在宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むため必要なサービスを適切に利用できるよう、利用者および家族の選択にもとづいて適切な居宅サービス計画を作成。公平中立な立場でサービスの利用調整を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

特定事業所としての体制を確保していました。

地域活動交流事業や生活支援体制整備事業、地域包括支援センターと連携し、一般行政サービスやインフォーマルサービスをケアプランに活用しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
95	88	90	95	88	93
10月	11月	12月	1月	2月	3月
90	91	89	86	86	91

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

生活指導(相談援助等)、機能訓練(日常動作訓練、レクリエーション)、介護サービス、健康状態の確認、送迎、給食、入浴

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

● 利用者負担分	1割	2割
(要介護1)	614円	1,227円
(要介護2)	725円	1,450円
(要介護3)	837円	1,673円
(要介護4)	948円	1,896円
(要介護5)	1,060円	2,119円
入浴介助加算	54円	108円
中重度者ケア体制加算	49円	97円
サービス提供体制加算(I)イ	20円	39円
介護職員処遇改善加算(I): 1ヶ月の利用単位数合計の5.9%		
● 食費負担: 普通食	700円	刻み・ミキサー食等特食
● 紙おむつ代	150円	パッド代
		50円

《事業実施日数》 週7日(年末年始12月29日~1月3日を除く)

《提供時間》 9:30 ~ 15:30

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名
看護師兼機能訓練指導員	4名
介護職員	11名
運転員	3名

《目標に対する成果等》

利用者及び家族の意思を尊重し、通所介護事業として可能な限り心身の状況や環境に応じた対応をしました。利用者個々の状況に応じた個別性に配慮した通所介護計画を作成し、サービス提供することで自立した日常生活(要介護状態の予防、軽減または悪化の防止)につながりました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- 利用者ひとり一人がゆったりとした時間を過ごせるよう、1日の受入人数は35名以内とします。利用者の体力的負担を考慮し、サービス提供時間は5時間以上7時間未満で行いました。
- 認知症対応型通所介護事業は行っていませんが、認知症介護実践研修を受けた職員を配置し、認知症の方にもサービス提供しました。

《利用者実績(延べ人数)》

※ 単位は省略してください。

【単位:人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
543	539	522	505	525	516
10月	11月	12月	1月	2月	3月
573	536	520	512	490	541

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

生活指導(相談援助等)、機能訓練(日常動作訓練)、健康状態の確認、送迎、給食、入浴、アクティビティ(集団レクリエーション・創作活動等の機能訓練)サービス

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

- 利用者負担分

	1割	2割
(要支援1)	1,766円	3,531円
(要支援2)	3,621円	7,241円
サービス提供体制加算(I)イ 要支援1	78円	155円
サービス提供体制加算(I)イ 要支援2	155円	309円
- 介護職員処遇改善加算(I): 1ヶ月の利用単位数合計の5.9%
- 食費負担: 普通食700円 刻み・ミキサー食等特食750円
- 紙おむつ代 150円 パッド代 50円

《事業実施日数》 週7日(年末年始12月29日～1月3日を除く)

《提供時間》 9:30 ~ 15:30

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名
看護師兼機能訓練指導員	4名
介護職員	11名
運転員	3名

《目標に対する成果等》

利用者及び家族の意思を尊重し、通所介護事業として可能な限り心身の状況や環境に応じた対応をしました。利用者個々の状況に応じた個別性に配慮した通所介護計画を作成し、サービス提供することで自立した日常生活(要介護状態の予防、軽減または悪化の防止)につながりました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

介護予防認知症対応型通所介護事業は行っていないが、認知症介護実践研修を受けた職員配置し、認知症の方にもサービス提供しました。

《利用者実績(契約者数)》

※ 単位は省略してください。

【単位:人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
9	9	9	7	7	7
10月	11月	12月	1月	2月	3月
7	7	7	7	7	7

平成30年度「横浜市本牧和田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,644,786	364,920	15,009,706	15,009,706	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0	244,400	△ 244,400	
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(賃借料相当額 法人負担分)			0		0	
収入合計	18,232,286	364,920	18,597,206	18,841,606	△ 244,400	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,544,000	0	10,544,000	12,453,071	△ 1,909,071	
本俸	6,054,000		6,054,000	7,883,152	△ 1,809,152	
社会保険料	1,305,000		1,305,000	1,672,115	△ 367,115	
手当計	3,106,000		3,106,000	2,830,807	275,393	
健康診断費	73,000		73,000	87,197	△ 14,197	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	0	6,000	***未付金
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,573,000	0	1,573,000	1,591,308	△ 18,308	
旅費	10,000		10,000	7,952	2,048	職員出張時交通費
消耗品費	226,000		226,000	324,922	△ 98,922	事業消耗品、事務消耗品
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	380,000		380,000	174,342	205,658	コピー印刷代
通信費	350,000		350,000	360,138	△ 10,138	郵送料、通信費
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	295,686	△ 295,686	複合機、パソコンリース料
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	4,000		4,000	45,055	△ 41,055	施設賠償責任保険料
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	5,000		5,000	2,268	2,732	振込手数料
リース料	150,000		150,000	7,939	142,061	サーバーリース料
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	433,000	0	433,000	373,006	59,994	お花代、諸会費、委託費、保守費、雑費
事業費	292,000	0	292,000	935,104	△ 643,104	
鎌倉協議会経費	42,000		42,000	8,366	33,614	
指定管理料充当 事業	250,000		250,000	926,718	△ 676,718	
管理費	4,979,766	364,920	5,344,686	3,756,097	1,588,589	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	3,093,766	0	3,093,766	2,270,524	823,242	
電気料金	0		0	0	0	
ガス料金	0		0	0	0	
水道料金	0		0	0	0	
清掃費	685,000		685,000	726,150	△ 41,150	
修繕費	474,000	364,920	838,920	966,360	△ 127,440	
機械整備費	252,000		252,000	252,277	△ 277	
設備保全費	212,000	0	212,000	212,142	△ 142	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	212,000		212,000	212,142	△ 142	
共益費	0		0	0	0	
その他	263,000		263,000	295,004	△ 32,004	
公租公課	843,520	0	843,520	0	843,520	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	843,520		843,520	0	843,520	
印紙税	0		0	0	0	
その他()	0		0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0		0	0	0	
当該施設分	0		0	0	0	
リース対応費	0		0	0	0	
支出合計	18,232,256	364,920	18,597,206	19,701,940	△ 1,104,734	
差引	0	0	0	△ 860,334	860,334	
自主事業費収入			0	244,400	△ 244,400	自主事業への参加料等
自主事業費支出			0	926,718	△ 926,718	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 682,318	682,318	
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市本牧和田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,322,000	0	23,322,000	23,322,000	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0		0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0		0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0		0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	0	0	
その他（揮毫特許除 法人負担分）	1,150,000		1,150,000	1,150,000	0	
収入合計	30,412,000	0	30,412,000	30,412,000	0	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,185,000	0	27,185,000	16,141,412	11,043,588	
本俸	14,185,000		14,185,000	8,636,810	5,548,190	
社会保険料	3,320,000		3,320,000	2,410,227	909,773	
手当計	9,549,000		9,549,000	5,022,758	4,526,242	
健康診断費	107,000		107,000	71,617	35,383	
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000	0	24,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
事務費	784,000	0	784,000	770,362	13,638	
旅費	23,000		23,000	13,496	9,504	職員出張時交通費
消耗品費	236,000		236,000	154,859	81,141	事業消耗品、事務消耗品
会議謝礼金	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	320,000		320,000	287,725	32,275	郵送料、通信費
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	166,536	△ 166,536	複合機、パソコンリース料
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	4,000		4,000	45,055	△ 41,055	施設賠償責任保険料
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	12,000		12,000	15,120	△ 3,120	振込手数料
リース料	120,000		120,000	25,139	94,861	サーバーリース料
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	54,000	0	54,000	62,432	△ 8,432	諸会費、委託費、保守費、雑費
事業費	1,114,000	0	1,114,000	8,749,550	△ 7,635,550	
協力医	630,000		630,000	588,000	42,000	
指定管理料充当 事業（包括）	24,000		24,000	6,663	17,337	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	157,084	△ 6,084	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	7,997,803	△ 7,688,803	
管理費	1,329,000	0	1,329,000	998,447	330,553	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	827,000	0	827,000	603,556	223,444	
電気料金	0		0	0	0	
ガス料金	0		0	0	0	
水道料金	0		0	0	0	
清掃費	183,000		183,000	193,026	△ 10,026	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	
機械整備費	67,000		67,000	67,059	△ 59	
設備保全費	56,000	0	56,000	56,390	△ 390	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	56,000		56,000	56,390	△ 390	
共益費	0		0	0	0	
その他	70,000		70,000	78,416	△ 8,416	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他（ ）	0		0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記）	0	0	0	0	0	
本部分						
当該施設分						
二一ズ対応費						
支出合計	30,412,000	0	30,412,000	26,785,771	3,626,229	
差引	0	0	0	3,626,229	△ 3,626,229	

自主事業費収入	0		0	0	0	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	6,663	△ 6,663	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 6,663	6,663	

管理許可・目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市本牧和田地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	2,800	3,379	-579	21,350	19,084	2,266	80,100	64,304	15,796	0	0	0
	その他	0	0	0	150	160	-10	848	681	167	4,460	3,857	603
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0			0	0	0	0	4,460	3,857	603
	その他事業収入	0	0	0	150	160	-10	345	334	11	0	0	0
	経常経費寄附金収入	0	0	0			0	0	30	-30	0	0	0
	受取利息配当金収入	0	0	0			0	3	1	2	0	0	0
	利用者等外給食費収入	0	0	0			0	480	274	206	0	0	0
	雑収入	0	0	0			0	20	42	-22	0	0	0
	収入合計(A)	2,800	3,379	-579	21,500	19,244	2,256	80,948	64,985	15,963	4,460	3,857	603
支出	人件費	0	0	0	15,977	16,208	-231	58,313	52,896	5,417	0	0	0
	事業費	0	0	0	0	0	0	8,794	7,933	861	0	0	0
	事務費	0	37	-37	574	445	129	11,574	11,695	-121	0	0	0
	管理費	0	0	0	0		0	5,630	5,214	416	0	0	0
	その他	1,800	2,050	-250	17	17	0	5,709	5,293	416	0	0	0
	施設使用相当額	0	0	0	0	0	0	3,588	3,588	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	17	17	0	14	4	10	0	0	0
	介護予防プラン委託料	1,800	2,050	-250	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	200	0	200	0	0	0
	リース債務返済支出	0	0	0	0	0	0	1,427	1,427	0	0	0	0
利用者等外給食費支出	0	0	0	0	0	0	480	274	206	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出合計(B)	1,800	2,087	-287	16,568	16,670	-102	90,020	83,031	6,989	0	0	0	
収支(A)-(B)	1,000	1,292	-292	4,932	2,574	2,358	-9,072	-18,046	8,974	4,460	3,857	603	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市本牧和田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
楽笑サロン さつき会	高齢者	247,662	地活	143,212	104,450		216,022		31,640
	731名		包括						
	1回毎150円		介護						
			生活						
認知症予防 学習・交流サロン 「なごみ」「アートでなごみ」	高齢者	51,944	地活	1,544	50,400		19,485	9,096	23,363
	519名		包括						
	なごみ1回毎100円		介護						
	アート1回毎 200円		生活						
介護予防講座 「本牧いきいき講座」 出前講座「はつらつ講座」	高齢者	157,084	地活		0		131,411	15,593	10,080
	510名		包括						
	参加費なし		介護	151,000					
			生活						
安心生活講座	地域住民一般	361	地活		0		0	0	361
	20名		包括	361					
	参加費なし		介護						
			生活						
介護者のつどい	介護者・ケアマネ等	5,400	地活		0		5,400	0	0
	12名		包括	5,400					
	参加費なし		介護						
			生活						
障害児余暇支援事業 「ホップステップ 夏休み」	個別支援学級児童	13,344	地活	2,444	900	10,000	0	12,061	1,283
	11名		包括						
	児童1人200円		介護						
	実習生300円		生活						
子育てサロン イクメンの星	未就学児と養育者	25,125	地活	11,126	14,000		6,682	663	17,781
	336名		包括						
	子育てサロン1回毎100円		介護						
	イクメンの星 1回毎200円		生活						
お散歩カフェほっと	地域住民一般	62,858	地活	35,158	27,700		0	33,942	28,916
	292名		包括						
	1回毎120円		介護						
			生活						
男の料理教室	高齢者男性	20,192	地活	3,242	16,950		0	20,192	0
	62名		包括						
	1回550円～300円		介護						
			生活						
みんなdeごはん	高齢者	43,307	地活		32,100		0	43,307	0
	129名		包括						
	1回毎300円		介護						
			生活	11,207					
ボランティア入門講座 「ボラたま！」	地域住民一般	2,500	地活	2,500	0		0	0	2,500
	7名		包括						
	参加費なし		介護						
			生活						
ボランティア活動支援 振り込め詐欺防止 普及啓発活動	本牧中学校生徒	948	地活	948	0		0	0	948
	19名		包括						
	参加費なし		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市本牧和田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
世代間交流会	高齢者と小中学生	1,645	地活	1,645	0	0	0	0	1,645
	48名		包括						
	参加費なし		介護						
			生活						
ハローよこはま CP紹介ブース出店	一般住民	902	地活		0	0	0	0	902
	人数のカウントなし		包括	902					
	参加費なし		介護						
			生活						
区民利用施設連携事業 つながる本牧つなげる未来へ 「ライトアッププロジェクト」	地域住民一般	2,000	地活	2,000	0	0	0	0	2,000
	人数のカウントなし		包括						
	参加費なし		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

平成30年度 自主事業報告書

横浜市本牧和田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
楽笑サロン さつき会 健康づくりと体操	<p>【目的】運動プログラムと定期的な外出機会の提供を通して、在宅高齢者の運動習慣と他者との交流機会を維持し、閉じこもり生活を防ぎ、介護予防を促進する。また、会場設営、運動補助、レクリエーション補助等を通して、団塊世代のボランティア活動を促進する。あわせてボランティアの健康づくりを行うことができる。</p> <p>【内容】講師指導の下で椅子に座ってできるストレッチ体操とペタンク等のレクリエーション。</p>	<p>全51回 通年・毎週（火） 13:30～15:00</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防 学習・交流サロン 「なごみ」 臨床美術 「アートで なごみ」	<p>【目的】音読、計算を行う学習時間や臨床美術士が提供する美術プログラムと参加者同士の交流を通して在宅で暮らす高齢者の認知症及びその他の認知機能障害を予防する。定期的な外出機会と交流の場の提供により、地域での孤立・閉じこもり生活を予防する。</p> <p>【内容】音読、計算を行う学習プログラム、臨床美術士が提供する美術プログラムの実施と、参加者同士の歓談やレクリエーションによる交流。また、健康な生活を送るための情報提供、参加者同士の情報交換を行う。子育てサロンに参加する親子との交流も実施した。</p>	<p>全51回 「なごみ・46回」 「アート・5回」 通年・毎週（木） 10:00～11:30</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
GO GO健康！ 介護予防普及強化 業務委託事業 介護予防講座 「本牧いきいき 講座」	<p>【目的】地域へ介護予防の視点を周知する。</p> <p>【内容】介護予防の必要性、運動やレクリエーション等を通して介護予防の普及・啓発を行った。</p>	<p>全18回 運動講座 13回 口腔衛生 3回 食事・栄養 2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化 業務委託事業 出張健康講座 「はつらつ講座」	<p>【目的】地域へ介護予防の視点を周知する。</p> <p>【内容】地域主催のサロン等、町内会館・自治会館に出向き、介護予防の必要性、ロコモティブシンドローム予防やレクリエーション等を通して介護予防の普及・啓発を行った。</p>	<p>根岸町自治会館 全5回 本牧三之谷町内会館 全4回 本牧元町南部町内会館 全6回 本牧大里町町内会館 全4回 本牧・根岸地区福祉文化センター 全5回</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
安心生活講座	<p>【目的】総合相談、権利擁護業務の一環として、安心して地域で暮らしていくための情報提供と地域包括支援センターの役割周知を行う。</p> <p>【内容】高齢期の安心生活に繋がるテーマで講義を実施。東京地方税理士会による「成年後見制度と相続」について</p>	<p>全1回 11月10日</p> <p>13:30~16:00</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症 介護者のつどい	<p>【目的】介護相談ができ、介護者がひとりで介護を抱え込まないような体制づくりを通して、介護者の介護負担を軽減し、在宅介護が継続できるよう支援する。</p> <p>【内容】①行政書士を講師に招き行政サービス、後見、遺言等について情報提供。 ②認知症ケアアドバイザーを講師に招き参加者の悩み等へ助言を受ける。</p>	<p>全2回</p> <p>①10月17日 ②11月21日</p> <p>11:00~12:00</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症 サポーター 養成講座	<p>【目的】認知症について正しい情報を理解し、地域で支え合っていくために地域に向けて普及・啓発を行う。認知症になっても住み慣れた地域で安心して、その人らしく生活することができるために地域ネットワークの構築強化と地域のニーズに対応できる力を養う。</p> <p>【内容】認知症の正しい理解、認知症サポーターの役割等の講話 を実施した</p>	<p>全2回</p> <p>①6月28日 ツクイ横浜根岸職員 31名</p> <p>②11月21日 間門小学校 3年生 37名</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議	<p>【目的】住み慣れた地域で安心して、その人らしく生活することができるように地域ネットワークの構築強化。</p> <p>【内容】 ①個別ケース 地域ケア会議 2回 ②包括レベル 地域ケア会議 3回</p>	<p>全3回</p> <p>実施日 ①6/22・9/28 ②12/14</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>障害児余暇支援 ～ホップステップ なつやすみ～</p> <p>*単館開催</p>	<p>【目的】夏休みに、個別支援学級在籍児童と地域の方（ボランティア）との交流を通して地域社会への参加の機会を提供し余暇支援を行う。 事業の広報、開催を通し、個別支援学級在籍児童・障害児支援への地域理解を広める。また、個別支援学級在籍児童・障害児の地域生活を支援するサポーターを増やす。あわせて、育児中の養育者の身近な相談場所、自主活動の場としての地域ケアプラザ機能の普及・啓発を行う。</p> <p>【内容】個別支援学級、近隣の児童養護施設、地区社協、地域ボランティアと連携し、ケアプラザでレクリエーションゲーム、調理体験、工作、スイカ割りなど半日程のレクリエーションを実施した。</p>	<p>実施日 8/20（月） 10:00～15:00</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>ポレポレまつり</p>	<p>【目的】障害を持つ人、持たない人、その他様々な年代の人の地域での出会いと交流の場作り。</p> <p>【内容】近隣の学校や地域の方へおまつりの周知・情報発信とあわせ、本牧中学校生徒をボランティアとして繋げた。実行委員会の後方支援を行った。</p>	<p>10月27日開催</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>障害者 就労移行支援 横浜市職場実習事業</p> <p>実習生の受け入れ</p> <p>横浜日吉就労支援センター 就労移行支援事業所 ワークアシスト と連携</p>	<p>【目的】障害のある方が実際の職場での経験を通じて就労意欲の向上とその後の就労へ向けたステップアップの機会。</p> <p>【内容】障害者就労支援センター等と連携し、実習先として、実習生の受け入れを行う。</p>	<p>実習期間 7/17～7/27 実習生：1名</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>子育てサロン</p>	<p>【目的】子育て中の親子が集える場の提供をすることにより、地域の養育者や子ども同士の交流を促進する。参加者同士の情報交換、育児イベント情報提供などを通し、育児環境の向上を図る。養育者が地域で孤立する事を予防する。</p> <p>【内容】子育て中の親子で集えるサロン形式で実施する。地域のボランティアと連携しクラシックのミニコンサートや親子リトミック等を行う。主任児童委員、民生・児童委員と連携し運営する。</p>	<p>全12回 通年・毎月 第3（木） 10:00～12:00</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
<p>子育てサロン 目指せ！ イクメンの星☆</p>	<p>【目的】父親等と子どもとのスキンシップ、音楽にあわせて一緒に行う体操（リトミック）等を通して、子育てに積極的に参加し、子育て力を向上させる男性（イクメン）を増やす。 あわせて、夫婦協働で子育てを行う家庭が増えることにより、子どもが安心して成長できる地域づくりを促進させる。 子どもと一緒に体を動かすことで、父親等の健康づくりを行うことができる。</p> <p>【内容】親子プログラム指導経験のある講師指導のもと父親等と子どもとがスキンシップを楽しみながら体を動かして遊ぶプログラムを実施した。</p>	<p>全2回 6/30・9/1 10:00～11:00 のべ参加人数 10名</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お散歩カフェ ホッと	<p>【目的】高齢者の一人暮らしの方や閉じこもりがちな高齢者の方等が気軽に立ち寄れる居場所づくり。様々な年代の方がカフェのサポーターとなることで生活課題を持つ方への支えあいを促進させる。</p> <p>【内容】カフェのサポーターさんが中心となり、茶話会を行った。ミニイベントの内容もサポーターと共に考え、高齢者のみならず、障害を持つ方も地域住民の一員として参加できる場を提供した。</p>	<p>全12回 実施日 毎月 第3 (水) 13:00~15:00</p> <p>のべ参加人数 292名</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の料理教室	<p>【目的】団塊・シニア世代男性の地域活動参加へのきっかけとなる場の提供。男性同士が調理昼食会を通して地域の中での仲間作りを行い、参加者自身の健康作りも促進する。</p> <p>【内容】地域ボランティアの調理指導の下、調理実習と昼食会を実施する。障害児余暇支援事業の調理ボランティア協力。</p>	<p>全4回 夏余暇支援調理含む 開催日： 下記 土曜日 6/23・10/27 11/24・H31..2/9</p> <p>10:00~13:00</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなde ごはん	<p>【目的】高齢者等の孤食を防ぎ気軽に食事ができる場の提供と社会参加による生きがいづくり。担い手についても社会貢献を通じた支え合いネットワークへの展開を目指す。</p> <p>【内容】地域の協力者(ケアマネジャー介護保険事業所等)と共に食事を作り、一緒に食べた。外出困難者には</p>	<p>全5回 開催日： 7/30・9/24 11/23・8/20 H31.1/26・3/23</p> <p>10:00~14:00</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児余暇支援事業 ボランティア 入門講座 「ボウたま！」 ～ボランティアの たまご～ 区内6地域ケアプラザ と区社協で共催	<p>【目的】地域の人材発掘、地域参加へのきっかけ作り。障害児余暇支援事業のボランティア育成とともに、障害児の地域生活を支援するサポーターを増やす。</p> <p>【内容】障害児者・啓発ネット「わっしょい」による障がい者理解、心理体験プログラム等を行い、ボランティア講座を実施。講座終了後、各ケアプラザの余暇支援ボランティアや地域の障がい者支援施設等のボランティア活動へ繋いだ。</p>	<p>全1回 実施日 7月31日(土) 10:00~12:30 会場： 麦田地域ケアプラザ</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 交流展	<p>【目的】地域でボランティア活動をする人の繋がりを強め、地域の活力増進を推進する。</p> <p>【内容】ボランティア自身の言葉でメッセージカードに活動内容や活動の感想を記入してもらい館内に掲示。各ボランティア活動の紹介と新規活動者の募集を行う。</p>	<p>通年 メッセージカード 50枚</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
活動の場の提供 地域活動団体 活動発表支援	<p>【目的】地域で活動する団体が意欲的に活動継続できるように、活動発表の機会・場を提供する。あわせて、ボランティア活動へ繋がるように支援する。</p> <p>【内容】地域で活動する団体が日頃の活動成果を発表（デイサービス等で高齢者への活動発表等）</p>	7/2・9/17 五代塾 8/22 八若お囃子連 9/14 フラダンス 9/15 本牧市民吹奏楽団 9/17 ピークラン磯子 本牧ケセラセラ 4回 紙芝居 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉教育支援 本牧中学校 福祉体験学習 区社協と共催	<p>【目的】近隣の中学校の生徒を対象に高齢者、障害者への理解を通して地域で誰もがその人らしく生活できるように支えあっていくことの大切さを知り、生徒一人ひとりが自身で支援できることを見つけて日常的に実践しようとする気持ちを育てる。</p> <p>【内容】2年生対象に、疑似体験等やワークショップを通して高齢者・障害者の方への理解を深める。あわせて障害を持つ人の話を聞き、生徒一人ひとりが「みんなのしあわせ実現にできること」をワークシートに記入した。</p>	実施日 6月1日（金） 13:30～15:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉教育支援 中学校 実習受け入れ （福祉体験実習） （職業体験学習）	<p>【目的】福祉施設での職業体験を通して、地域で誰もがその人らしく生活できるように、支えあっていくことの大切さを知り、生徒一人ひとりが自身で支援できることを見つけて日常的に実践しようとする気持ちを育てる。また、福祉施設を利用する人の思いや願いを理解する。</p> <p>【内容】施設見学、事業内容概要説明のオリエンテーション。車椅子体験やデイサービスでの話し相手等福祉体験学習を実施。</p>	仲尾台中学校 11/16・27・28 本牧中学校 1/24・2/4

事業名	目的・内容	実施時期・回数
本牧中学校 ふれあい 古紙回収	<p>【目的】古紙回収を通して地域で誰もがその人らしく生活できるように支えあっていくことの大切さを知る。生徒自身が支援できることを日常的に実践する機会とする。</p> <p>【内容】中学校と連携し生徒の定期的な古紙回収活動を支援した。</p>	通年 高齢者世帯 1軒 月に1回活動 活動者7名

事業名	目的・内容	実施時期・回数
本牧中学校 ボランティア の会 活動支援	<p>【目的】ボランティア活動を通して、地域で誰もがその人らしく生活できるように支えあっていくことの大切さを知る。生徒自身が支援できることを日常的に実践する機会とする。</p> <p>【内容】ケアプラザ自主事業や地域のイベントでのボランティア活動。</p>	夏休みの活動 ・間門小縁日 ・認知症サロンなごみ ・お散歩カフェ ・デイサービス夏祭り ・楽笑サロンさつき会 ・振り込め詐欺 防止活動

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
世代間交流会	<p>【目的】地域の高齢者との交流会を通して、地域で誰もがその人らしく生活できるように支えあっていくことの大切さを知り、生徒一人ひとりが自身で支援できることを見つけて日常的に実践しようとする気持ちを育てる。また挨拶や声かけができる関係作りのきっかけとする。</p> <p>【内容】①本牧中学校ボランティアの会と間門荒井の老人会（エーデルワイス）合唱とレクリエーション ②間門小学校キッズクラブと楽笑サロン「さつき会」運動とペタンク</p>	<p>①10月10日 15:00～16:30</p> <p>②7月24日 7月31日 13:30～15:00</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エコキャップ 収集	<p>【目的】誰でも簡単に参加できる支えあい活動を通して、地域福祉活動に興味をもってもらうきっかけとする。また、地域の方にケアプラザへ来所してもらう機会作り。</p> <p>【内容】エコキャップ収集活動を広報紙等で、地域の方へ呼びかけ活動に参加してもらう。収集したキャップはNPOに依頼し、ワクチン代として支援国へ寄贈。収集状況は広報紙で報告した。</p>	<p>通年実施</p> <p>回収実績:133.9kg ワクチン:107.6人分</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
広報紙 「ぼんぼこ たより」	<p>【目的】地域福祉・保健関連の情報や地域ケアプラザの事業、ボランティアや地域団体の活動等を地域住民に情報発信し、地域福祉活動への参加促進に繋がることを目的として発行。</p> <p>【内容】地域福祉・保健関連、地域ケアプラザの事業や地域団体の活動等を掲載した。町内会自治会への配布、近隣の小中学校や障害者福祉施設、介護保険サービス事業所等へ毎号配布を行った。</p>	<p>年5回発行 6月、8月 10月、12月 2月</p> <p>各1600部配布</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域活動支援 *本牧・根岸地区社協 「一人暮らし高齢者等 食事会」 *本牧元町南部 「高齢者等食事会」 *本牧三之谷「茶話会」 *グリーンハイツ室橋 「茶話会」 *大里町カフェ *本牧地区健康体操教室 *根岸ふれあいサロン	<p>【目的】地域の方との顔の見える関係づくり。あわせて地域の方との連携強化。地域の方へケアプラザの事業紹介や地域包括支援センターの機能周知。</p> <p>【内容】地域主体の活動や行事へ参加すること等を通して福祉・保健の情報提供や周知を行う。あわせて、個別相談等へ繋がる機会を提供。</p>	<p>*本牧・根岸地区社協 「一人暮らし高齢者等食事会」 全6回 *本牧元町南部 「高齢者等食事会」6回 *本牧三之谷「茶話会」 4回 *グリーンハイツ室橋 「茶話会」8回 *大里町カフェ 3回 *本牧地区健康体操教室 5回 *根岸ふれあいサロン 5回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中区民まつり ハローよこはま CP紹介ブース 出店 区内6地域ケアプラザ 共催	<p>【目的】ハローよこはまへの出店をとおり、参加者の方に、ご自身が住んでいる地域のケアプラザのことを知ってもらう機会とする。</p> <p>【内容】ケアプラ紹介パネル展示とリーフレットの配布 コインゲーム(景品付き)</p>	<p>10月7日(日)</p>

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区民利用施設 連携事業 中区民利用施設 スタンプラリー 区・地域振興課 区民利用施設 企画委員会 共催	<p>【目的】 区民利用施設のPRを目的とした事業の企画委員会に参画することとおしてケアプラザの周知地域住民同士の支えあい活動を促進させるきっかけづくりを行う。</p> <p>【内容】 スタンプラリーの企画・準備を行う「企画委員会」へ参加。スタンプラリーの実施。</p>	スタンプラリー 実施期間 8/20～9/30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区民利用施設 連携事業 つながる本牧 つなげる未来へ 「ライトアップ プロジェクト」 本牧地区のまちづくり の会（3団体） 本牧地区区民利用施設 キッズクラブ 他 共催・協力	<p>【目的】 地域の伝統ある行事「お馬流し」にあわせ、地域住民が手作りしたライトで本牧山頂公園案内通路をライトアップする活動への協力をおして地域団体・区民利用施設等との連携力を強化し、あわせてケアプラザの周知、地域住民同士の支えあい活動を促進させるきっかけづくりを行う。</p> <p>【内容】 ライト作成のワークショップ開催。「ライトアッププロジェクト」の周知。ケアプラザ、ボランティア活動の紹介。</p>	ライト作成の ワークショップ 7月 ライトアップ期間 8/3～8/6